

全国工業専門学校協会 第3回学生成果報告会

「海外アパレルブランドと協働したデザイン教育の取組み」

修成建設専門学校 空間デザイン学科

担当教員：鍵谷 啓太

発表者：橋 珠紀・米田 奈央・福井 凜

■はじめに

修成建設専門学校・空間デザイン学科は、建築を起点としてプロダクト、インテリア、住空間、商空間、ランドスケープなど、身体、それを取り巻く建築、社会へとつながるすべての空間を「デザイン」を軸に学び、多様な世界でデザインのプロフェッショナルを目指す学科です。

即時性が求められるデザイン業界で、未来のデザイナーを育成するために

- ・「かんがえる」「つくる」「つたえる」能力を高めること
- ・産官との連携のなかで、つねに実践的教育を行なっていくこと

これを学科方針として、2年間の学びに反映させることを行なっています。

彼らの学びの核となる「スペースデザイン演習Ⅰ・Ⅱ」では、特に2年次において産官学連携による演習課題へのチャレンジを行ないます。本年度はスイスのブランド・FREITAG(フライターグ)と協働し、ショップデザインの演習課題を開催しました。

■FREITAGについて

FREITAG(フライターグ)は1993年にスイスで誕生、使い古したトラックの幌や廃棄された自転車のチューブ、車のシートベルトといった廃棄物をリサイクルし、機能性やデザインに優れたバッグとして再生販売することから始まりました。

リサイクル=安物という既成概念を超え、全ての商品が世界に一つのものという価値観を創造したFREITAGのupcycle≠recycleというブランド思想はヨーロッパを中心に「ハイブランド」として支持されています。数年前より日本にも進出、特に若い世代へのブランドイメージの浸透を行ないたいという彼らFREITAGの想いと、常に最先端のデザインの現場と実践教育を通じて向かい合いたいという空間デザイン学科の方針との合致から、今回の協働がスタートしました。

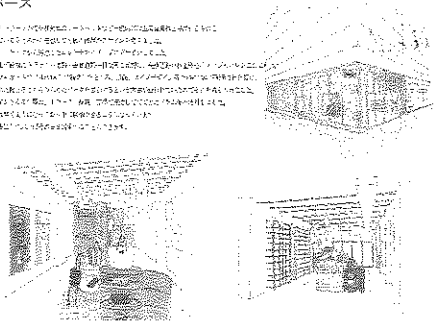
### ■課題と発表作品について

大都市のデザイン感度の高い地域における、とあるビルの1階部分を改修した、FREITAGのブランド思想を発信するためのコンセプトショップの提案  
課題に際し、ブランド分析・動線や商品展示計画・什器デザイン・店舗設計において、特に優れていると評価した3案について発表を行ないます。

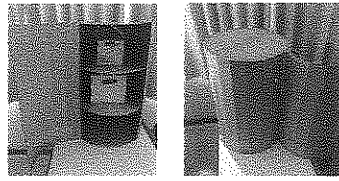
### ■空間デザイン学科2年 橋 珠紀 案

#### ■パース

このパースは、店舗の入り口から店内の様子を表現しています。天井は、木製の梁と照明が特徴的で、店内には、商品棚やカウンターが配置されています。また、店内には、木製の椅子やテーブルが配置されています。

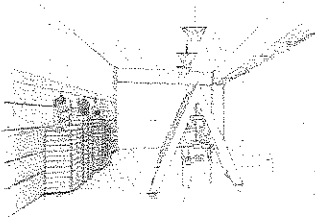


#### ■什器構想

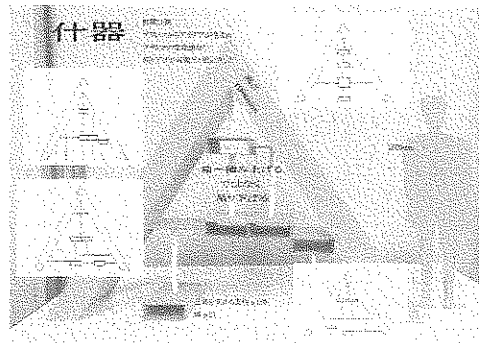


### ■空間デザイン学科2年 米田 奈央 案

#### FREITAG



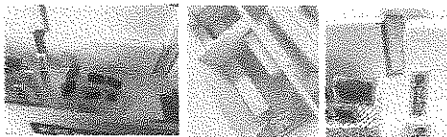
試案 米田 奈央



### ■空間デザイン学科2年 福井 凜 案

#### FREITAG SHOP DESIGN

店舗のデザインを表現し、商品の展示方法を提案しています。また、店内には、木製の椅子やテーブルが配置されています。



#### FREITAG SHOP DESIGN

店舗のデザインを表現し、商品の展示方法を提案しています。また、店内には、木製の椅子やテーブルが配置されています。

